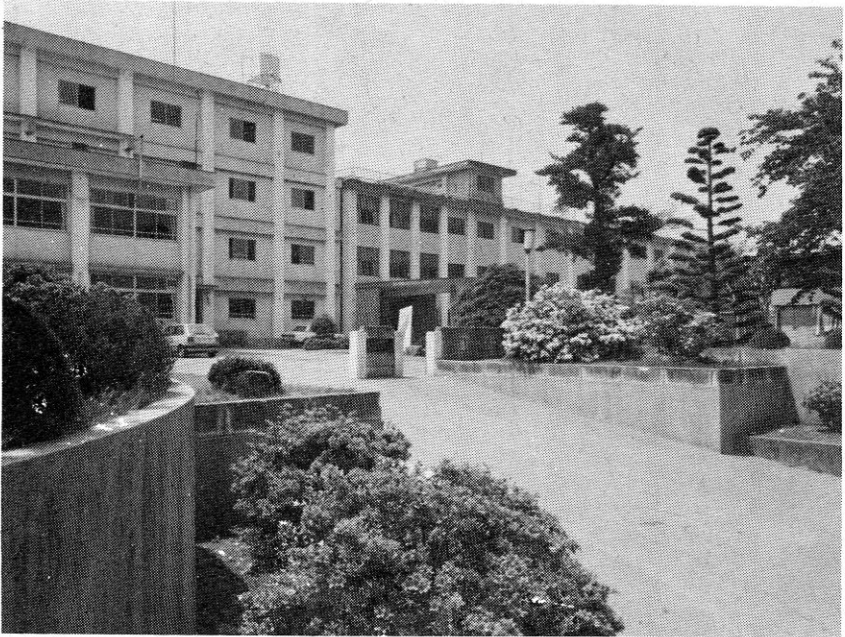


広陵

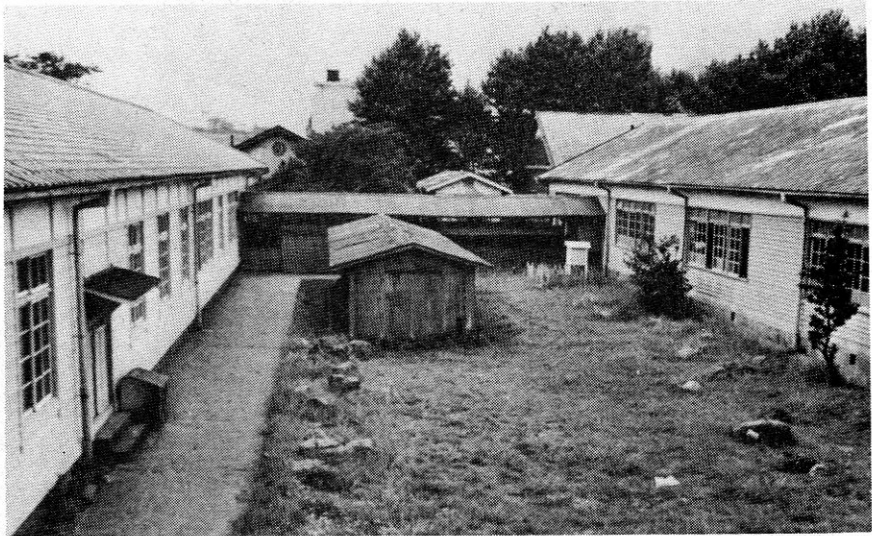


第 13 号

59.7.20

59年度 総会 8月26日(日)

神奈川県立秦野高等学校同窓会々報



旧校舎理科棟より雨天体操場を望む

同窓会々報第13号 目次

表紙	題 字	宮本 信義(中5)
写真(全紙面)「かぶらぎ写真館」		蕪木考之典(中15)
総会のご案内		1
予算案・決算の報告		2
六十周年を控えて	能條斐雄	3
支部だより(伊勢原)		3
支部だより(平塚・秦野)		4
支部だより(茅ヶ崎) 奈五美会		5
同窓会造林について		6
役員選考委員会について		6
ごあいさつ 学校長 二見修次		7
進学カルテ(進学状況)		8
母校からこんにちは(部活動だより)		10・11
卒業生近況報告		12
会費納入・編集後記等		14

“伊勢原”でお会いしましょう!!

秦中高12,000有余の同窓生諸君

総会日時 8月26日(日) PM 2:00から

総会々場 「こみや」

伊勢原市伊勢原285 ☎0463 (95) 0209

会費 3,000円

※ 駐車場は少々ありますが、車は御遠慮ください。

総会日程

PM 2:00 受付
 PM 2:30 総会
 58年度事業報告及び決算報告
 59年度事業計画及び予算案審議
 その他
 PM 4:00 懇親会

総会の御案内

昭和59年度 秦野中・高同窓会

定例総会が八月二十六日伊勢原で開催されます。毎年参加者が少ないので各幹事さんが開催時期・方法についていろいろ論議の結果別記のようにきまりました。伊勢原地区支部の諸兄が設営してくれました。どうか會員諸兄の多数のご参加をお願いします。

総会のご通知

会長 能條 斐雄

◎合 計 六、七六八、九九八円

記念会館設立準備積立金会計報告

5月7日(土) 会計監査、幹事会(予)決算(会報・総会) 出席20名
 5月21日(土) 会報委員会 出席12名
 7月20日(日) 会報第12号発行
 8月17日(日) 総会 於 秦野 出席52名
 10月10日(土) 造園整備
 10月22日(日) 造林見学会 出席6名 役員・支部長などの会
 10月31日(日) 造林契約の10年延長 更新契約
 11月12日(日) 前田夕暮 記念碑建立授助
 1月28日(土) 幹事会(60周年事業について) 出席22名
 2月28日(土) フラスバンド部へ助成金をおくる。
 3月1日(木) 母校卒業式、新会員四五四名を迎え入れる
 右記の他、年間を通じ、名簿販売、慶弔などを行う
 以上

59・3・31現在

59年度事業計画

- 一、幹事会・総会の開催
- 一、会報第三号発行
- 一、会費納入の促進と支部育成強化
- 一、名簿販売
- 一、在校生活動支援
- 一、慶弔
- 一、記念造園の整備
- 一、造林調査
- 一、60周年記念事業の推進

昭和58年度事業報告

5月、11月 激励費支給
 県大会へベスト8 ↓
 庭球 8名
 女子バレー 13名
 陸上 17名
 サッカー 16名
 関東大会 ↓
 男子バレー 13名
 女子バレー 13名
 陸上 18名
 弓道 1名
 全国大会 ↓ 庭球 4名
 なお、11月20日(日)校内1万米競走に賞品をおくる

昭和58年度 決算報告

昭和59年度 予算案

◎ 歳入の部 (58.4.1~59.3.31)

項目	58年度予算額	58年度決算額	増減(減=△)
前年度繰越金	3,041,691	3,041,691	0
卒業生入会金	912,000	912,000	0
会費	1,500,000	1,479,900	△ 20,100
雑収入	50,000	53,238	3,238
合計	5,503,691	5,486,829	△ 16,862

◎ 歳入の部 (59.4.1~60.3.41)

項目	59年度予算額	58年度予算額	増減(減=△)
前年度繰越金	2,644,824	3,041,691	△ 396,867
卒業生入会金	908,000	912,000	△ 4,000
会費	1,300,000	1,500,000	△ 200,000
雑収入	50,000	50,000	0
合計	4,902,824	5,503,691	△ 600,867

◎ 歳出の部

項目	58年度予算額	58年度決算額	比較(超=△)
会議費	320,000	265,645	54,355
総会費	200,000	164,000	36,000
幹事会費	70,000	81,200	△ 11,200
委員会費	50,000	20,445	29,555
事業費	3,200,000	2,371,480	828,520
支部育成費	450,000	197,160	252,840
在校生活動振興費	600,000	615,400	△ 15,400
ブラバン助成費	100,000	100,000	0
造林調査費	50,000	32,670	17,330
造園維持費	70,000	70,000	0
慶弔費	130,000	157,000	△ 27,000
会報発行費	1,300,000	1,087,200	212,800
60周年記念準備費	500,000	112,050	387,950
事務費	212,000	204,880	7,120
事務局費	200,000	201,680	△ 1,680
通信費	5,000	1,200	3,800
印刷費	5,000	0	5,000
森林組合賦課金	2,000	2,000	0
予備費	1,771,691	0	1,771,691
合計	5,503,691	2,842,005	2,661,686

◎ 歳出の部

項目	59年度予算額	58年度予算額	増減(減=△)
会議費	400,000	320,000	80,000
総会費	250,000	200,000	50,000
幹事会費	100,000	70,000	30,000
委員会費	50,000	50,000	0
事業費	3,552,000	3,200,000	352,000
支部育成費	400,000	450,000	△ 50,000
在校生活動振興費	650,000	600,000	50,000
ブラバン助成費	100,000	100,000	0
造林調査費	50,000	50,000	0
森林組合賦課金	2,000		2,000
造園維持費	100,000	70,000	30,000
慶弔費	150,000	130,000	20,000
会報発行費	1,300,000	1,300,000	0
60周年記念準備費	800,000	500,000	300,000
事務費	220,000	212,000	8,000
事務局費	200,000	200,000	0
通信費	15,000	5,000	10,000
印刷費	5,000	5,000	0
森林組合賦課金		2,000	△ 2,000
予備費	730,824	1,771,691	△ 1,040,867
合計	4,902,824	5,503,691	△ 600,867

昭和58年度歳入総額…5,486,829円

昭和58年度歳出総額…2,842,005円

により、昭和59年度へ繰越す額は…2,644,824円

会員の皆さんには益々お元気で活躍のこととお喜び申し上げます。私は五十八年八月の総会で加

藤前会長の

後を承けて、足柄県七郡共立の小田原原学

徴力にも拘らず、会長

の重責を仰せつかりま

したが、幸

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

年を迎える訳ですが、(これは大正十五年に旧制の組合立奈珂中学校が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

が創立されてからのことであり、

支部だより

伊勢原支部

てまいりました。

まぶしい太陽のふりそそぐ夏も

すくそこにあります。皆様にはこの夏に沢山の計画をお持ちのこと

でしよう。そのプランの中にぜひ

加えていただきたいことがござい

ます。八月二十六日の泰高同窓会

です。こう申しますと「ああ、年

をとつたらね」すげないお返事を

なさる方がいらっしやるのではな

いでしょうか。数年前迄私もそう

思っていたからです。

三年程前、恩師の能条会長より

「一度顔を出したら」というお声

をかけられ同期生数人出席した

時のことです。会場に入ってます

年令の幅の広いのに戸惑いました。

然し会が進行するにつれて、あ

の広畑ケ丘で学んだお仲間とい

うに、つばい意見の交換で賑わった

ことに、支部よりの要請もありほ

んどどの役員が出席し58年度の会

計報告、59年度の事業計画、それ

に続き総会準備の打合せ等、熱

60周年を控えて

会長 能条 斐雄 (中6回)



いにも各位 体的実践に移るため、取敢えず、 各地区からご推薦願つた二百余名 の方々へ実行委員としてご委嘱さ せて頂くことにしました。尚今後 皆様からご推挙があればこの実行 委員は、更に拡大強化して行く所 存であります。

より感謝しております。 さて、母校は明後六十二年には 人生の還暦にも相当する創立六十

参考にして頂いて無理のない 適切な線で決定願ひ、実行に移し て頂くよう考えております。この 意義ある大事業は、単に役員や委 員だけの努力で成るものではあり ません。実に一万五千名に近い同 窓各位の母校愛の発露に頼るのみ であります。茲に予め、各位の深 い理解と絶大なご協力を切に 懇願申し上げる次第です。 幸い、母校は皆様も一案内の如 く、名実共に県下屈指の名門校に なりつつあります。またご卒業の 同窓各位には、夫々各界で活躍 してご発展になり誠に頼もしい限りで あります。 嘗って山陰の松下村塾は明治維 新を担う名士を輩出しました。相 模湾に君臨する吾が奈野高校から 昭和維新を開く幾多の人士が輩出 することを私は固く信じて疑いま せん。(開校の理想と質実剛健の伝 統を堅持して) 終りに母校の限り ない発展と六十周年の成功、同窓 各位のご多幸を祈念いたします。

意欲から、次第に親近感が湧い

ものではないかと努力を重ねて下さる諸先輩のご苦労は想像以上に大変なこともわかりました。

再来年は創立60周年にあたります。少しでも大きな輪にして行くことが年一度の総会の目的なのです。新制高校に参り、第5回生より女子の入学があり、現在は相当数の女子卒業生があります。

同期会に出席しても総会となるとちよつと尻込みしていらつしやる女子の皆様、この機会にもうひとつ華やかな輪を作ってみてはいかがでしょうか。そこにはきつと懐かしい思い出と共に新たな交流が始まり、すばらしい進展も見い出せることでしよう。

会報13号を通じて、ご参加 お願いの呼びかけをさせていただきます。

半沢 文子 (高8)



平塚支部

呼喙(さいたく)という言葉が停ありますが、母どりが温め続けているうちに、卵から雛が生まれるときの、雛(母どりの共同作業がなされると聞いております。

これは、おかげ様で立派に育ちましたありがたい。こんな意味を含めて雛は卵の中から殻をついて、合図を送ることであります。母どりはこれを受けとめ、くちばしで殻を割って、雛どりの誕生を助ける、いわば自然に与えられたすばらしい、かわり合であります。私たちの生活や行動をするに

当って、学びたい面が多々あります。一時期支部長が欠員でありました。本部との連絡や支部のとりまとめをしておられた湯沢昇平(中3) 足立行雄(中5) 両氏から要請を受け、同窓会の何かお役に立てば、と引き受けたものの山積

しております諸問題に全く当惑い下推進中でありました。幸い従前から熱心な有志の先輩、後輩の方達と相談しながら懸案であります支部組織づくりによりくんでおります。今、学区外になりましたが、平塚在住の同窓生は数十名にも及びます。先ず同窓会事務を担当の校内幹事生の努力により作られた名簿を基に、支部内小地域の取りまとめをしていただくリーダーの確保であります。昨年この誌上で岡崎地区の活動状況について発表された戸倉豊三氏(中5)は、地区組織の無かつた平塚に二石を投じ、一〇〇名の会員をつくられたことは大きな実績の現われであります。こうした実績をふまえて、地域のそここに、新しい息吹が宮なまれることを願う訳であります。次に支

秦野支部

たしまた。幸い従前から熱心な有志の先輩、後輩の方達と相談しながら懸案であります支部組織づくりによりくんでおります。今、学区外になりましたが、平塚在住の同窓生は数十名にも及びます。先ず同窓会事務を担当の校内幹事生の努力により作られた名簿を基に、支部内小地域の取りまとめをしていただくリーダーの確保であります。昨年この誌上で岡崎地区の活動状況について発表された戸倉豊三氏(中5)は、地区組織の無かつた平塚に二石を投じ、一〇〇名の会員をつくられたことは大きな実績の現われであります。こうした実績をふまえて、地域のそここに、新しい息吹が宮なまれることを願う訳であります。次に支

このようにかわり合ひの中で、前段で述べました、会員相互ならびに支部と会員の「さいたく」が重要な役割をもつものであることを、しみじみ痛感いたしております。

開校60周年を2年後にひかえ、本年1月の同窓会幹事会でその記念行事、組織づくりの方向が決定されたのを受けて、2月5日、秦野支部では、実行委員の人選等について役員会を開きました。50周年の際の資金調達の家態から見て、やはり中核となるのは、地域組織であることから、秦野支部では、名前に囚われず、各卒業期に亘って、多数の委員を選び、この記念行事に関係することがベタであるとの意見に達しました。

小西 登 (中10回)

中3) 足立行雄(中5) 両氏から要請を受け、同窓会の何かお役に立てば、と引き受けたものの山積

開校60周年を2年後にひかえ、本年1月の同窓会幹事会でその記念行事、組織づくりの方向が決定されたのを受けて、2月5日、秦野支部では、実行委員の人選等について役員会を開きました。50周年の際の資金調達の家態から見て、やはり中核となるのは、地域組織であることから、秦野支部では、名前に囚われず、各卒業期に亘って、多数の委員を選び、この記念行事に関係することがベタであるとの意見に達しました。

榎本 圭治 (高2)

中3) 足立行雄(中5) 両氏から要請を受け、同窓会の何かお役に立てば、と引き受けたものの山積

茅ヶ崎支部

私ども茅ヶ崎支部も、本部の会合や総会などには出来る限り一人でも多く出席して他地区の活潑な活動の様子を拝聴し参考にしなが、どうやら結成以来十六年を経過し、やっと会員数も五十二人に達しました。これも偏に支部会員は勿論、他地域の皆様のご支援とご協力の賜物であり、改めて篤くお礼申しあげます。

日頃、心にかかっていることは名実ともに湘南茅ヶ崎支部として、その成長発展を願ひ、藤沢地区在住者の諸氏にも呼びかけてはいるものの、現実になると仲々思うようには参りません。しかし、母校創立六十周年の運動を契機に新しい分野が開拓されることを願っております。

さて、これからは事業運営のための財源のことに移りますが、日頃の同窓会の運営にせよ、これか

ら迎える創立六十周年記念事業にせよ、その原動力の一つは、何と云つてもその事業に足るだけの財源が、集められるか否かにかかっていると思われまふ。昭和五十三年の頃でも会報「つ」発行してお手許に届けるのにも、百円近くの費用がかかるとのことでした。この

ような誤で同窓会の運営財源は毎年入会する若い同窓生の入会金が最大の収入となり、それにおんぶする姿では先輩として何とも情ない極みで、物価高騰の続いている現在では、まさに推して知るべしです。

創立五十周年記念事業醸金額は幸いにも目標額を上回る一千百方

余円に達したそつです。明年の母校は、人生の還暦にも相当する六十周年を記念する誠にお自出度い年です。我々卒業生は、ただ単にその地域の中心的卒業生や老齢の先輩のみに頼らないで、全卒業生が一丸となつて母校の六十周年の祝賀の意を行動で具現したいも

のです。この運動が明日の支部育成と強化につながり、更に会員相互の融和と親睦に資し、延いては母校の健全な発展に寄与することを念願してやみません。

青木 滋 (中6)

五十周年記念

奈五美会

(奈珂中五回卒)

昭和八年三月四日広畑ヶ丘の母校を卒業してはや五十年を迎えた。それぞれ社会に出ていろいろ活躍されています。卒業時から見て現在在は約三分の一は戦死又は病気でこの世を去つていきました。残り

特に今年は五十年目になりますので奈野幹事に協力願つて去る六月二十六日箱根湯本橋館で開催しました。恩師の方々に招待状を差上げましたが、病氣、都合が悪く欠席で

残念なありません。それでも全園から集り三十二名が一同に会して一夜を過しました。演会に先きだつて一同亡つた仲間二十九名の黙禱をしました。又来年の再会を約して別れました。

西野 茂次 (中5回)



(奈珂中業50周年記念奈五美会)

「会報を飾る写真 藤不孝之典氏 (中15) 提供
奈野市で「からぶき写真館」を経営奈野市写真館の老舗。母校創立当初から親子でアルバム作成など、技術とまことろで尽力されている。

同窓会造林

見学について

昨年十月、王一同窓会造林の見学会が開催された。北秦野森林組合へ集り、出原野区会長以下四人。こは隣、豊橋、八良館、少しはなれて郵便局、四軒の店舗があり地区のセンターと言った所から組合用意の車に乗り現地行、この間十分位か、この造林は昭和十四年当時の中谷校長が菩提の森林組合より一四〇八アールの山林を五十年間借用したもので、十八年頃迄在校生が榎・松・杉を植林したものである。だからもう四十余年も経っている訳だ。植林をしたのが四年位だから、現在の卒業生はこの造林に馴染みのあるものはごく少数だろう。その間現在に至る迄、間伐・枝打ち等は一切行われなかつた。それにもか、わらず随所に立派に成長した木がある。

同行の森林組合長の説明をきく。五十六年五月から十月にかけて

四〇〇アールの間伐を行い良質なものを販売した。その時の単価は一立方米二六〇〇円。手取り拾万円の成果があった。

木材価格の低迷加へて管理だから仕方があるまい。枝打ちの費用は一〇アール当り六万とのこと。造林は秦野の名所栗の花台の附近にある。すばらしい眺望の所だ。バスも大秦野駅から一日二回でいる。休日は客の様子で増便するとの事。「百聞一見にしかず」みな

母校愛を結集し

実行委員会開催さる

母校の創立六十周年を記念する

とになりまし。

記事業実行委員の選出も終り、第一回の実行委員会が、梅雨の間をぬぐうようにして、天候に恵まれた六月三十日、母校会議室で開催された。出席者五十名、総会を思わすような盛会の中で、約三時間にはわたる熱心な討議の末、全員一致、大略次のようなことが決定され、今年度総会に提案されるこ

さんは是非お出掛け下さい。今はやりの素敵な森林浴も出来ます。

杉山 健 (中7)



一、記念事業

(1) 母校の要請に応える事業

(2) 開校記念の碑の建立

(3) 名簿発行

(4) 資料収集 など

一、献金目標 貳千万円

一、献金期間 総会后より昭和六十年三月末まで

一、一口金額 貳千円、何口でも

同窓会役員選考委員会について

去る五月十二日幹事会が開催されました。昭和五十八年度事業報告、決算報告、五十九年度事業報告案、予算案等について審議をいたしました。本年度は同窓会役員改選の年であるから、その審議については、秦野地区三名、伊勢原地区三名、平塚地区二名、茅ヶ崎、小田原地区各一名、学校一名、の計十一名の選考委員を選任して審議することにいたしました。よって六月八日選考委員会を開催し、出席者秦野地区 富正、関野勇、監査小西登、渡辺 杉山健、唐津祥也、宮本 信澄、伊勢原地区 村松晃、山健、村松晃男、荒井権八、広沢 男、横山清太郎、賀川義光、平塚地区 小西登、学 出をし、委員長に不肖宮本信澄、

会費納入状況

(58.4.1~59.3.31)

方 法	納 入 金 額
秦野支部	766,500円
伊勢原支部	416,000
茅ヶ崎支部	14,500
振替	266,200
現金計	16,700
合 計	1,479,900

先づ委員長より去る五月十二日の幹事会の意向を踏えて、経過報告の説明をし次期同窓会役員の候補者の選考を、お諮りいたしましたところ、昭和六十一年は本校創立六十周年になります、つ



ごあいさつ

学校長 二見 修次

本年四月、人格識見のすぐれた大矢前校長の後任として、長い歴史と伝統のある秦野高校に参りました。

着任に際し、卒業生をはじめ、多くの方々から「最近の秦野は、ますます評判がよく、まさに上昇気流に乗った学校です。どうか頑張つて下さい」と言う激励の言葉を頂き、責任の重さに身の引きしまる思いがいたしました。

「承知の通り、いまや、教育をめぐる問題、とりわけ進学率94%を超える状況にある高校教育は、さまざまな問題を抱えております。最も重要な課題は、次の時代を担う青少年をどのような人間に教育するかであります。現在の高

校生が、社会的にも活躍する時代はすでに21世紀です。この新しい

時代を的確に予測することは困難ですが、今後の社会の急激な変化や新しい課題に主体的に対応できる能力を育成することが必要です。

具体的には、如何なる苦難にも立ち向う強い意志とか、問題解決に積極的にチャレンジする知的な探求心、あるいは今後の情報化社会の中で、自分で情報を選択し活用する能力、さらには望ましい人間関係をつくること出来る資質などを育てることが重要だろうと考えます。

本校は、明後年(昭和61年)には創立60年を迎え、明治からの草創時代を含めると実に一世紀に及びます。この間、本校の多くの先輩が地域社会は勿論のことさらに広く各界、各分野において重要な役割を果たして来られました。やが

て来る21世紀の新しい時代も当然秦高の卒業生が、特に地域社会において大きな推進力となり、かつ、リーダーとしての役割を果すことが期待されております。

ところで、本校の現況ですが、生徒数は30学級(各学年10学級)一三八二名(うち女子は五四六名)です。「承知の通り、学区改正後、毎年に地元志向が強くなる中で母校として実績を着々と挙げております。例えば、本年度の進路状況も可成の好成績をあげることができました。就職者は十九名で、大卒、短大等の進学希望者が増しました。国立大学への志願者も増え、いわゆる有名私立大学にも数多く合格し、本年度の合格者延数は、前年より八四名も増加し、六三四名に達しました。

このような好ましい進路状況が在校生にも大きな刺激となり、教職員も熱心な指導と相俟って、生徒の学習状況はますますよくなり、学校全体が活気に充ちております。今後とも、学力の一層の向上を図りながら、生徒の能力・適性・進路希望などに応じた指導をより徹底させ、如何なる困難をも克服し得る体力と気力を充実させ、その結果、地味で堅実な現在の秦高生気質に更にチャレンジ精神をも加えていきたいと考えています。

本校の伝統的行事である、秋の全校マラソン大会、春の陸上競技大会、更には、今年から七月に実施することになった広陵祭(文化祭・体育祭)なども、このような資質を育成するために、きわめて良い場であります。そのため今後とも、それらへの積極的、主体的参加を指導し、秦高生活を二層充実したものにさせたいと願っております。

同窓生の皆様、母校秦野高校の一層の発展のため、今後とも格段のご理解と協力をお願いいたします。

大矢前校長 惜しまれつつご退任

昭和五五年九月より三年半にわたり、母校の校長としてご活躍いただきました大矢前校長先生には、去る三月末をもって、ご退任になりました。

先生には、学区改変後の秦野・伊勢原学区における中心校としてクラブ活動は勿論、進学の面でも目を見張る成果を上げるまでに、母校の発展に寄与されました。誰にでも気さくに接しられ、その人柄に魅せられて、職員・生徒をはじめ、父母の方々にも非常に親しまれて来ましたので、今回のご退任は誠に惜しまれます。先生の今後のご健勝とご活躍を心からお祈りする次第です。



母 校 か ら

進 学 カ ル テ

- ▷ 合格者数やや上向く ◁
- ▷ 躍進目立つ文科系 ◁
- ▷ 就職者数大幅に減少 ◁

進路指導部

茂 泉 俊 夫

五十九年春の進路状況について報告し、その特徴を述べたいと思います。

今年も学区が変わって初めての卒業生ということもあって、学校内外の関係者の彼らに寄せる期待には並々ならぬものがあつた様に感じられます。

卒業生四五四名(男二七四、女一八〇)のうち、大学・短大の入学試験を受けた者は、全体の八六% (昨年八一%) にあたる三九一名(男一四六、女二四五)でした。この中で実際に入学した者は、男子一〇九名(受験者の四四%)、女子二二名(同八三%)の計一二三〇名(同五七%)で、数の上では昨年比二〇名程増えました。が、対受験者比率即ち初志を遂げて進学できた者の割合でみると、昨年並みでした。しかし女子については一〇%程の低下がみられ、四年制大学への進学率の増加に伴う一般の傾向といえそうです。その結果、男子二七名、女子一八

名が、来春の栄冠を目指して、目下浪人中です。

学校別の合格者延数を別表に掲げましたが、このうち国公立大学についてみますと、共通一次受験者八八名(昨年五二)、二次受験者四〇名(同三四)のうち、合格者九名(同七)と、内容的には見ると、数値的にはまだまだ周囲の期待に十分こたえたとはいえない様です。一方、大学受験者数に対する合格率は、理系の二% (昨年三%) に対し、文系一四% (同一九%) と、二、三年続いてきた文系不振を大きく上回る好成绩を示しました。内容的にも、今年は神大の給費生を始め、早稲田、立教、青山等、従来浪人有勢の大学へ多数の現役合格者を出しました。

短期大学については、七四名が入学し、昨年度実績の五一名を大きく更新しました。しかし合格率の方は四八%と横這い気味で、難

しきは少しも変わっていません。また入学者の約三〇%は、学校推薦によって合格した者であります。各種専門学校への入学者は、四九名(昨年四一名)で、最近三年高卒者の就職難が危ぶまれましたが、実際には就職希望者が大幅に減少し、二二名(昨年四四名)全員が希望通り就職できました。

以去春の進路状況の概要を述べましたが、卒業生諸君の進路先での健闘を期したいと思います。

59年度 卒業生進路状況

コース	性別	大 学 受 験 者 数 (短大計)	進 学			就 職	浪 人
			大 学	短 大	各 種		
文 系	男	129	52	0	12	10	78
	女	130	38	69	30	8	17
理 系	男	117	55	2	4	3	59
	女	15	11	3	3	0	1
合 計	男	246	107	2	16	13	137
	女	145	49	72	33	8	18
計		391	156	74	49	21	155

就 職 関 係 に つ い て は、景 気 が 上 向 い て き た と い う も の の、行 政 改 革 や O A 革 命 の 影 響 で、今 年 も 高 卒 者 の 就 職 難 が 危 ぶ ま れ ま し た が、実 際 に は 就 職 希 望 者 が 大 幅 に 減 少 し、二 二 名 (昨 年 四 四 名) 全 員 が 希 望 通 り 就 職 で き ま し た。

陸上部

実現させよう!!

「全国高校駅伝」出場「京都」へ

顧問 石井 隆 士

一年間に走る距離、ざっと7000km。これは乗用車が走る距離ではなく、一長距離部員が昨年一年間に走った距離である。

朝12km、午後10km、午後30kmの計52kmという日もある。これだけの練習をやったのは、秦野高校六十年近い歴史において初めて巡

つて来た優勝のチャンスがあったからでもある。中学時代は無名の中から、選手が努力に努力を重ね、目標に向って一丸となつて来た。しかし、残念ながら県大会での初優勝は逃

したものの第2位に食い込み、更に関東大会では、県大会優勝の藤沢商業に50秒近い差をつけて6位入賞を果した。

こんにちわ

同程度の練習をやっていたのでは、今までの域を脱することは出来ない。そんな気持ちから、昨年は今までの1.5倍以上の距離をこなした。特に夏の合宿において、一日平均43.4km、その合宿のある日においては

県大会での経過については表1に示してある通り、第1区内藤篤史は予想していた順位・記録より遅れて来たものの、第2区山口真也が4人抜きと急進、第3区高橋誉薫が2年連続の区間賞を奪う快走で首位に踊り出て、2位藤沢商

業を31秒引き離した。しかし、第4区頼持雄はよく頑張ったもののまた藤沢商業に逆転され4秒差で第5区石井徹へと継いだ。だがここからは、選手層に勝る藤沢商業が他校ではエース格の選手を配するだけの余裕を見せ、ゴールでは59秒まで離れたのである。第2位への悔しさはあったものの、さわやかな敗戦でもあった。

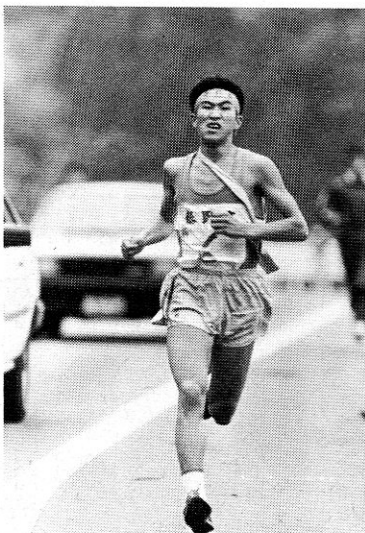
区間	氏名	タイム	順位	通算タイム	順位
1	藤沢 史也	32'00"	7	32'00"	7
2	山口 真也	9'43"	2	41'43"	3
3	高橋 誉薫	25'10"	1	1'06'53"	1
4	石井 徹	26'36"	10	1'33'29"	2
5	藤沢 史也	9'04"	4	1'42'33"	2
6	藤沢 史也	16'14"	4	1'58'47"	2
7	藤沢 史也	15'34"	2	2'14'21"	2

は県大会のうつぶんを晴らすかのように快走に次ぐ快走。(表2)

最後の試合で最高速の走りを10kmを見せ、30分53秒の記録で第3位。この勢いが第2区以後でも衰えることなく、ほとんど選手が区間順位をひとけたから10番台で走りぬき、第6位入賞を

区間	氏名	タイム	順位	通算タイム	順位
1	内山 篤史	30'53"	3	30'53"	3
2	山口 真也	9'35"	5	40'28"	4
3	高橋 誉薫	25'09"	3	1'05'37"	3
4	藤沢 史也	25'30"	17	1'31'07"	5
5	藤沢 史也	9'15"	5	1'40'22"	5
6	藤沢 史也	16'01"	25	1'56'23"	6
7	藤沢 史也	16'17"	17	2'12'40"	6

果したのである。6位入賞と同時に2時間12分40秒の記録は、昨年の秦高記録を2時間17分29秒を4分更新し、その日の体調とか疲労状態は十人十色。10名が同じ登山口からと言う訳には、10名が別々の登山口から登らなければならぬ。そこから各自のペースで登らせるのである。ある者は前半ハイペースで後半ゆっくり。ある者はそれとは逆で、ささ、選手と言った具合であり、そうではな



・補欠合わせた10名を試合当日、ベストコンディションに持っていきたいことである。山でたとえて言うならば、試合当日が山頂なのである。各々10名が同じ山頂を目指して登るのだが、その人の、その日の体調とか疲労状態は十人十色。10名が同じ登山口からと言う訳には、10名が別々の登山口から登らなければならぬ。そこから各自のペースで登らせるのである。ある者は前半ハイペースで後半ゆっくり。ある者はそれとは逆で、ささ、選手と言った具合であり、そうではな

母校から

ればならない。従つて、ある時期からはグループに別けたり、別々の練習をさせたりするのである。

それでも試合当日山頂で10名が顔を合わせるのは至難の技である。頂上へ着いた者、まだ登っている者、すでに下山を始めている者、と別れてしまふ。しかし、出来る限り、同じ9合目に位置していても、下山途中ではなく、登っている9合目になるように調整させなければならぬ。これは精神面で大きな差として現われてくる。これが一番苦労する点であり、また楽しくやりがいのあることもある。

今年、来年と残されているチャンスをものし、是非「京都」へと足を運びたいものである。

部ニテ

全国大会県予選 清水・毛塚組 代表決定戦で惜敗

顧問 秋山 修

女子足球部は三年生二名、二年生名で臨んだ関東大会県予選で敗退。二カ月後行われる全国大会。この紙面で全国大会での戦い。男子は成瀬晶好・重田勝雄が

出陣。一回戦大阪の桜宮高校に逆転勝ち、二回戦秋田県能代工業高校と対戦。前半から自分達のペースで試合を運び、マッチポイントまで取り優勝かと思いましたが、最後の一本が決らず惜敗しました。

女子は小泉美樹・由美の双子ペアで二年連続出場を果たした。一回戦熊本県八代東高校と対戦。持っている力を出しきれず敗れた。全国の壁は厚く、目標三回戦を達成することはできませんでした。

最後に同窓会より多大なご援助をいただきました。ありがとうございます。今後、一層努力し期待に添うよう頑張ります。

第二十一回全国高等学校放送コンクール全国大会が、去る五十八年十一月二十八日、東京のサンケイ会館で開かれました。本校放送委員会の出品作品、ラジオドラマ「音」が見事最優秀賞に輝きました。現代社会に於ける「音」の濫乱をテーマにした、社会性に富んだ一種の文明批評にもなっています。身の上、テレビ、クレーン、選挙の街頭演説、音の出る信号機などの音が、聞きたくない人の耳にまで無理やりとび込んできます。そういう「音

『音』ラジオドラマ 全国一!

顧問 山崎 謙

「音」が見事最優秀賞に輝きました。現代社会に於ける「音」の濫乱をテーマにした、社会性に富んだ一種の文明批評にもなっています。身の上、テレビ、クレーン、選挙の街頭演説、音の出る信号機などの音が、聞きたくない人の耳にまで無理やりとび込んできます。そういう「音

送会 委員 放委

テレビ、クレーン、選挙の街頭演説、音の出る信号機などの音が、聞きたくない人の耳にまで無理やりとび込んできます。そういう「音



秦高生と福祉活動

JRC会
同好

— JRC活動を中心として —

顧問 青木利之

「全血採血」と、赤血球や血小板など必要に応じた成分採血」とに
なつた事、「検査サージス」といつて献血者の健康管理の一助として生化学検査をしてもらへる事、昭和五十七年四月から、後には輸血を必要とする人には献血手帳の有無にかかわらず、誰でも

「広陵」六号に献血運動を中心とした母校の福祉活動について書きましたが、その続きを書きます。昭和四十三年以降の同窓生の方には、在学中献血に御協力ありが

いつでも血液の供給が受けられる制度になつた事、の三点です。現在献血者は春秋二回で延人数六百人をこえています。生徒の献血に対する関心は高く、特に女子が

国からお迎えが来るのを待つていという来世養育型と、百才まで生きるんだという現世価値型があるようで、話をするにも、その辺の所をつかむのは大変難しい事です。夏・冬には一人暮らしの老人へ便りを出しています。対外的には、県央地区での定例会、交歓会、MTC（地区会員研修会）を通して、友好の和を助け、福祉の輪の共同をつくるのもJRCの仕事です。

本校の福祉活動を活性化しているのに、JRC（青少年赤十字）同好会を見のがすことはできません。昭和五十年、鶴見高校から転校してきた唐沢君を中心として、田舎の学校にも福祉の目がひかれ、最初は身近な問題解決から出発しましたが、現在二年生

数ヶ月前の新聞に、本校二年生（現三年）のクラスの生徒が、水無川河畔の清掃をした記事がでしたが、福祉の輪がクラブに留まらず、大きく広がってきたのを証明しています。

受験競争の激化、ややもすると積平主義教育におちいろうとする現在、人間として共生、共存して行く態度、感謝の念は失つてはなりません。顧問の森谷、池田先生

卒業生近況報告

四十一年五月に巨る教職生活を実施したりした。お陰で地域の退いてから間もなく満七年を迎える。その開始めに二年間、非常勤の形で中教育事務所勤め、教育関係事務の手伝いしたり、時には家庭教育学級や高齢者学級などの講師として、中管下の市町に出向き社会教育の一端を担った。これが終ると息つく暇もなく地元の自治会長、続いて全体の自治会連合協議会長を押しつけられ東奔西走した。長年の勤めで地元への協力が十分でなかったので恩返しのためでやらせていただいた。

その後気ままな生活をしてきたら、今度は地域の公民館長に推されて、二年間その任に当り、各種学級や講座の開設をしたり、体育レクリエーション等の大きな行事を実施したりした。お陰で地域の多くの人々と顔見知りとなり、充実した日々を送ることができた。これからは、自由な人生を楽しみたいと思つた。

平塚 市川 忠雄（中6）

小生、伊勢原市笠窪の産。昭和九年広畑が丘の学窓を出て、笈を負つて師範学校に学び、以来一以之貫くべく、藤沢市内より他市へは転任せず、小・中学校の教師として戦前、戦中、戦後と辛酸な世に出し、既に名を成した阿部昭前田愛の両氏も小生の教え子。月日は百代の過客とか、阻戦一炊の夢の如く、還暦は疾うに過ぎ、古稀も近い。懐かしの中学時代一脳裡を去来するもの校舎、恩師、級友、環境等、特に講義兼用の雨天体操場、その西側のまた支柱を施した鈴懸の苗木、春秋ともなれば穂波がさわめき、中天高く素雀の啼き声をきき、弘法山の鐘の音に

育つた五か年間の思い出は尽きない。同期生の会は近年毎年開かれているが、宿洞の為、酒宴の席には出席出来ず残念な礼している。母校の発展を祈念すること切。

藤沢 溝溝 靖男(中6)

◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇

私は「国際環境論 現代中国論」などを担当しております。ときどき学生と中国を歩きます。最近の著書には「中国的思考と行動様式—現代中国論—」などがあります。未筆ですが、同窓の「発展」と「健康」とを祈りいたします。

◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇

東京清水 徳蔵(中10)

私は中学十七回終戦の年の卒業工場動員の毎日で学校での勉強はほとんどしていない。しかし、貴重な体験を通して、それ以上の大きなものを得たことに感謝をしています。そして敗戦、旧い家の長男に生れた私は、農地解放から土地を守るためニワカ百姓になった。

◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇

平塚 伊藤 昌治(中17)

昭和三十三年養蚕卒業以来二十六年間ずっと農業経営一筋に歩んでおります。将来への展望も仲々厳しいものがありますが、自然を相手にする仕事の面白さを心から感じております。ハウス母が主です。晴耕雨読という訳には行きませんが、まあ精神的な面から言

◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇

茅ヶ崎 新倉 國宏(高12)

私は現在商工会議所で経営相談を行っている。最初、失業保険相談を担当していたが、いつか金融相談を専門とするようになった。

◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇

茅ヶ崎北陵高校より現在の中央農業高校に転動して、六年が過ぎました。中央農業高校には約百名の職員がいますが、その中には飯田宜雄校長(中14回)、渋谷富治

教授として、中国問題の研究のげこまれ、村一番の情農になってきた。以来、平塚の市議員として十年、非才にもかかわらず、議長という大任をもらい併せて関東議長会副会長、全国競輪主催地議長会副会長などの重責に、押し潰されそうに悪戦苦闘の連続であります。そのなかでいつも思うことは、質実剛健の根性をたたく

◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇

茅ヶ崎 新倉 國宏(高12)

て十年、非才にもかかわらず、議長という大任をもらい併せて関東議長会副会長、全国競輪主催地議長会副会長などの重責に、押し潰されそうに悪戦苦闘の連続であります。そのなかでいつも思うことは、質実剛健の根性をたたく。また私の魂のふるさと広畑ヶ丘に感謝の毎日である。

築立ち近き雲雀の為、折残す。表が夕べの風にさやけり。人はもと鳥にあらずや夕茜極まる空の下に恋ひあつ。一年の時担任だった杉山長風先生の薫染、まじしきを得て短歌を唯一の心の支へとしております。丁度昨年は故郷の歌人前田夕暮の生誕百年に当りまして色々催しが行われ、又今年はその生家の跡に記念碑が建ちます。先生とは、今もって短歌を通じて御つき合いを戴いております。

まともな類である。資金使途がどうも釈然としないからよく聞いてみると娘さんの結婚資金に流用するというようなのは誠によろしくない。又難しい案件をなんとか借り入れ出来るようにしてあげて実行なったとしてもそういうのに限って返済が遅れる。そしてその人は必ずと言っていいくらい「返せないものはしょうがないじゃないか」と逆に怒鳴る口調で聞き直ってくる。現在は金融を含め相談業務の縮括を行っているが、経営相談の難しさを痛感している今日この頃である。

◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇
◇◇◇◇◇

秦高同窓生がおります。まさしく秦高同窓生が学校運営の中心であり、私にとっては非常に心強いかがりです。自営者養成の農業高校は全国に39校あり、神奈川県では本校だけが文部省より指定されております。そんな訳で、洋ラン（シンビジウム、エヒネラン）や草花いじりも私の趣味の一として加わり、毎年花を咲かせております。

一昨年、県職、高校の体育関係者の集まりを渋谷（中農）、青島（平塚工高）、込山（秦高）、越水（五領高）先生等のお骨折りで伊勢原で持った所28名の出席があり、秦高同窓生の健在ぶりを、大褒頼もしく思った始第です。

伊勢原 能條 剛（高17）

会報委員会より

委員長 杉山 健中 7

五月十二日三時より秦野柳屋で会報委員会を開催した。出席者



十三人。特に嬉しかったのは、はして本年是非のせるべきだとの意見が強く出された。又母校を去られた旧師弟の近況報告も掲載したとの意見もあった。細部は校内幹事の両先生に一任して五時貴重な委員会を終了した。出席者のみは様大褒あり難うございました。

会費納入お願い

秦野・伊勢原地区に続いて、茅ヶ崎支部も集団徴収による会費納入制度になりました。全体の八〇%を占めています。残りの二〇%弱は振替・現金等です。

昭和四十六年より行われており、会費納入額も年々増え、昨年、一昨年と百五十万台に達し、安定しています。この調子が持続すれば、同窓会活動も計画的に富み、活発化する。こともできるし、先輩後輩のきずなも一層強くなってきます。本年もよろしく御協力をお願いいたします。

（青木記）

お知らせ

本同窓会では、亡くなられた方に気持だけの香典をさしあげています。もしお知り合いの同窓で分った場合は、事務局（県立秦野高校内）までお知らせ下さい。

原稿お寄せ下さい

紙面が豊かになり楽しくなるのも、一つ會員のみなさんの手にかかっています。とにかくニュースをお届け下さい。三六〇字以内）送付先 秦野市下大槻二二三 県立秦野高等学校内 同窓会事務局 石井郷二宛

送金の方法

振替送金の場合は、同封の振替用紙に所要事項御記入の上、最寄りの郵便局で御送金下さい。別に振替手数料三十円を要します。なお、郵便局の受領証にて本会の領

編集後記

うっとうしい梅雨空にもかかわらず編集作業が順調に進む。二度目の経験ということで手順も良い。取書にかまかせていただきます。必ずしも良い編集とはいかないが、

（青木記）・満足、満足、（石原記）

〒 257

秦野高校同窓会

会報委員会

秦野市下大槻二二三番地 県立秦野高等学校内
電話秦野〇四六三(初)一四二二一三
振替口座 東京二二二六八九
発行責任者 杉山 健中(7回)
編集責任者 石井郷二(高7回) 石原春男(高16回)